学校番号	T3017

平成 31 年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新・見てわかる社会と情報」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは今、「情報社会」とよばれる世界に生きています。多くの、そしていろいろな種類の情報に私たちは取り囲まれているので、どの情報が自分にとって必要なのか、どれが正しい情報なのかを見極めることがとても大切になっています。

また、「情報社会」は様々な情報機器や情報サービスで構成されています。機器の基本の仕組みを理解し、うまく扱うこと、サービスの仕組みや意味を理解して、使いこなすことは私たちがうまく生きていくために不可欠な知識となっています。

「社会と情報」という科目は、現代社会を生き抜いていくための姿勢と技術を身につける科目です。コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得し、情報を主体的に活用できるように学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得する。
- 情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
- 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
- 社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。

情報機器の使い方に関する知識や技能の習得を通して情報活用の実践力を育てる。情報の収集や発信などの実習を通して、情報技術の活用の必要性、情報社会に主体的に参加する態度を育成する。ロゴ言語を使って、プログラム作成を体験し、その基本を理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技術を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 実習作品 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 実習作品 定期考査の結果 相互評価･自己評価等	学習状況の観察 課題作品 発表 相互評価･自己評価等 実技テストの結果	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 実習作品 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	私たちの生活と情報環境 情報伝達の工夫と情報機器	コンピュータの基本操作について学ぶ。 文字入力の実際を学ぶ。 自己紹介文を作り、交換会をする。	○	○	○	○	「社会と情報」の学習目標について理解できる。【a】 ・情報やメディアの意味や特徴を理解できる。【b・d】 ・アナログとディジタルの違いについて理解できる。【d】 ・情報伝達の目的に応じたメディアの種類が分かる。【d】 ・分かりやすい発表ができる。【a,b,c,d】 ・タッチタイピングの基礎知識を身につけ，自力で練習ができる。【c】	出欠状況 授業態度 演習プリントなど
6 7	情報の収集と発信	旅行計画を立てる(ディジタルメディアを用いた問題解決を)。 電子メールによる情報伝達について学ぶ。 ディジタル文書の作成。	○	○	○	○	・電子メール，WWW などが利用できる。【d・c】 ・電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを理解できる。【d】 ・プラス・マイナスの両面からディジタルデータの特徴を理解できる。【d】 ・問題解決のために，情報機器やネットワーク，他者の協力，様々な発想法を効果的に活用できる。【a,b,c,d】 ・ソーシャルメディアについて理解でき，その種類と特徴が分かる。【d】 ・フォントの特徴が理解できる。【d】	出欠状況 授業態度 演習プリント 定期考査など
9 10	情報の収集と発信	プレゼンテーションの方法。 インターネットによる情報検索・収集。 データベースの活用。情報共有と発信のための表現 情報の収集と発信の問題点	○	○	○	○	・検索エンジンの仕組みを理解し，効率よく検索できる。【d,b,c】 ・ネットワークでのメディアの役割や，インターネットを活用してできることを理解できる。【d】 ・インターネットに接続する手順や，接続できる機器が理解できる。【d】 ・インターネット上で攻撃やいじめに注意する自覚や，軽率な投稿をしない意思を持てる。【a,d,b】	出欠状況 授業態度 演習プリント 定期考査など

11 12	情報の活用と統合的処理	情報の活用とマルチメディア 情報の作成と処理	○	○	○	○	メディアリテラシーについて理解し，実践できる。【d,b】 ・匿名性が高い，ログが残るなどインターネット上でのコミュニケーションの特徴や注意点を理解し，上手に活用できる。【a,b,c】 インターネットにのめり込まないための方法を理解できる。【d,b】 ・有効的な活用を意識しながらデータを集め，表計算ソフトウェアを活用してデータを分析できる。【d,b,c】	出欠状況 授業態度 演習プリント 定期考査 など
1 2 3	情報機器の発達と社会	ロゴ言語を用いて簡単なプログラムを作成する 情報機器の発達 情報システムと社会の変化	○	○	○	○	・テーマに沿ったプログラムを組める。【a,b,c】 ・コミュニケーション手段の発達の変遷を理解できる。【d】 ・出会い系トラブルや個人情報流出から身を守るための方法を理解し，生活に活かすことができる。【a,d,b】 著作物や著作権の種類，保護するものについて理解できる。【d】 ・日常生活の中で使われている情報システムを理解できる。【d】	出欠状況 授業態度 演習プリント 定期考査 など

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解